

## 広域連携部会取組状況

No	部 会 名	担当県
1	広域防災部会	島根県
2	スギ・ヒノキ花粉症対策部会	岡山県
3	有害鳥獣対策部会	鳥取県
4	中山間地域振興部会	島根県
5	サイクリング部会	広島県
6	地域産業振興部会	山口県
7	広域デジタル部会 (防災情報システムWT)	山口県 (広島県)

# 広域防災部会

連携テーマ	これまでの取組(令和5年度)	今後の取組(令和5年度)
<b>大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG</b> (岡山県・山口県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 広域避難体制の検討</li> <li>▪ 協定に基づく各県共有情報(食料等調達可能数量、受入拠点等)の更新</li> <li>▪ 広域物資輸送拠点開設等運営計画作成に向けた検討</li> <li>▪ 関西広域連合との協定に基づく情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 広域避難体制の検討継続</li> <li>▪ 支援・受援マニュアルについて、中国5県共同防災訓練の評価・意見、広域避難体制に関する検討状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを実施</li> <li>▪ 広域物資輸送拠点開設等訓練の実施等を通じ、民間施設を活用した拠点施設運営マニュアル作成など、広域物資輸送拠点としての活用の実効性を高める取組を検討</li> <li>▪ 関西広域連合との情報交換の継続</li> </ul>
<b>防災訓練・人材育成WG</b> (鳥取県・広島県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 中国5県共同防災訓練の実施方法などを検討</li> <li>▪ 各県が実施する訓練・研修等に係る情報共有</li> <li>▪ 総務省との共催による中国5県共同災害マネジメント総括支援員等集合研修の実施方法などを協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 中国5県共同防災訓練の実施</li> <li>▪ 各県訓練・研修の相互参観・参加</li> <li>▪ 中国5県共同災害マネジメント総括支援員等集合研修の実施(島根県、R5.11)</li> </ul>
<b>原子力災害を想定した連携と調整等WG</b> (島根県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供</li> <li>▪ 情報共有体制の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供</li> <li>▪ 情報共有体制の継続</li> </ul>

# 広域支援体制の強化について

## 経緯

- 大規模災害発生時の全国一元的な応援職員派遣の仕組みとして、総務省と全国知事会等が連携し、次に掲げる支援を調整する「応急対策職員派遣制度」を構築
  - ①被災地域ブロック内を中心とした地方公共団体による応援職員の派遣〔第1段階〕
  - ②全国の地方公共団体による応援職員の派遣〔第2段階〕

- この応援職員の派遣については、あらかじめ総務省に登録された地方公共団体の職員で構成する「総括支援チーム」を派遣し、被災状況や応援職員のニーズの把握を行うほか、被災市町村が行う災害マネジメントを総括的に支援するスキームが設けられている。

### <総括支援チームの構成イメージ>

災害マネジメント総括支援員 ※	(1名)
災害マネジメント支援員 ※	(1~2名)
連絡調整要員	(1~2名)

※ 都道府県・指定都市等の推薦を受け、総務省・消防庁で実施する研修を受講 ⇒ 名簿に登録

## 趣旨

「総括支援チーム」は、まず、被災地域ブロック内の職員を中心としたチームで活動するため、平時から同一地域ブロック（＝中国ブロック）で顔の見える関係を構築し、災害時の支援活動の円滑化と広域支援体制の更なる強化に資する。

## 取組

### 「中国5県共同 災害マネジメント総括支援員等集合研修」の開催

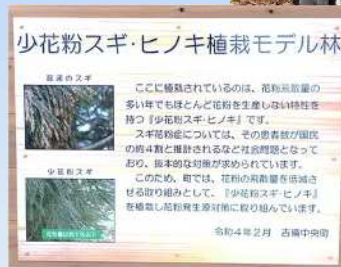
- 日程：令和5年11月9日（島根県庁）・10日（島根県雲南市）  
対象：中国ブロック内の災害マネジメント総括支援員、災害マネジメント支援員、それらの候補者などの防災関係者  
内容：過去の大規模災害の事例報告、班別討議・意見交換、被災地視察

※地域ブロック単位での集合研修の開催及び地域ブロック幹事県（島根県）と総務省との共催による開催は、全国初の取組

# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■連携テーマ

- ① 中国地方連絡会議の開催
- ② 苗木等の相互融通と植替えの促進
- ③ ヒノキに関する調査研究
- ④ 普及啓発活動



## ■テーマ毎の進捗状況

連携テーマ	目標	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度見込
① スギ・ヒノキ花粉症対策推進中国地方連絡会議の開催	・連絡会議の開催(年1~2回)	・2回開催 ・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有	・2回開催 ・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有
② 少花粉スギ・ヒノキ苗木等の相互融通と植替えの促進	・中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 令和7(2025)年度に50% (少花粉スギ苗木580,000本/スギ全体1,161,000本)	・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 16% (少花粉スギ苗木141,838本/スギ全体913,130本) ・少花粉苗木等の相互融通	・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 27% (少花粉スギ苗木270,000本/スギ全体995,000本) ・少花粉苗木等の相互融通
③ ヒノキ特定母樹の少花粉品種に関する調査研究	・調査研究結果の情報共有	・調査研究の情報共有	・調査研究の情報共有
④ 少花粉スギ・ヒノキ等に関する普及啓発活動	・リーフレットの配布等	・普及啓発用メモ帳の作成・配布 ・モデル林設置 1箇所【累計38箇所】	・普及啓発用エコバックの作成・配布 ・モデル林の設置 1箇所

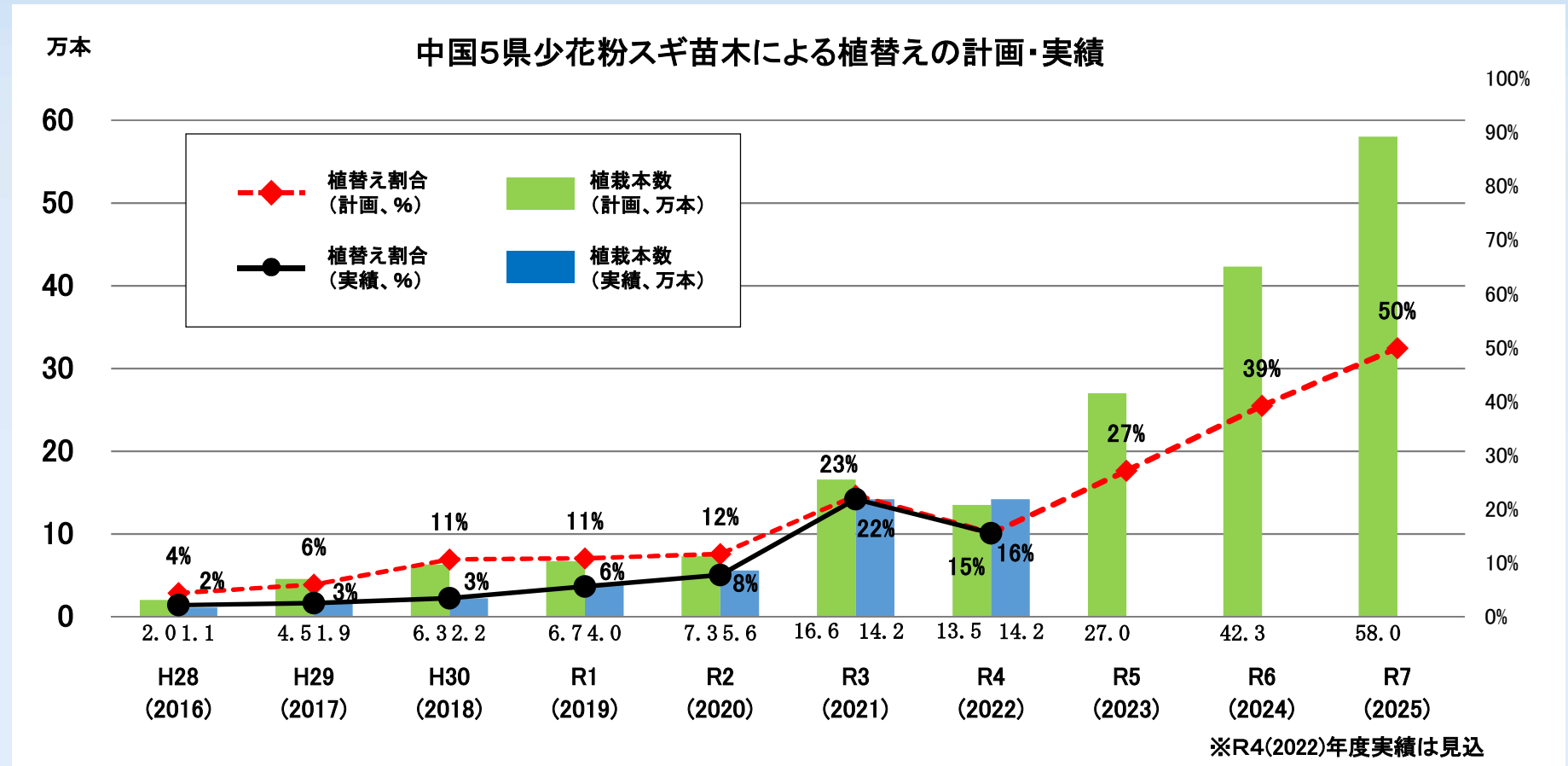
# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■ 植替えの促進(少花粉スギ)

中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合を令和7(2025)年度に50%とする。

[参考数値] 令和7(2025)年度の少花粉スギ苗木の植栽計画本数 580,000本  
※ただし、計画本数は今後の苗木の需給動向により随時見直す。

## ■ 中国5県トータルの計画・実績



# 有害鳥獣対策部会

## 連携テーマ

### 野生イノシシ、ニホンジカ、カワウに係る広域連携体制の構築

〔取組の方向〕 ①生息状況の情報共有 ②捕獲、被害対策の取組状況の情報交換 ③広域的な取組方針の検討

## 取組体制

獣種	取組主体	広域的な取組方針
野生イノシシ	中国5県豚熱等に係るイノシシ検討会	中国5県豚熱等に係る野生イノシシ対策行動指針(R2.12改訂)
ニホンジカ	中国5県ニホンジカ対策連絡会	中国5県ニホンジカ広域管理方針(H31.3)
カワウ	中国5県カワウ対策連絡会	中国5県カワウ広域管理方針(H31.3)

## 取組内容

### 《野生イノシシ(豚熱対策)》

野生イノシシ対策行動指針に基づき、広域連携体制を構築

➡ 検討会を核として、5県が連携した対策を実施中

#### (1) 野生イノシシの養豚場への侵入防止対策強化

- ☑ 全農場で侵入防止柵を設置
- ☑ 侵入防止柵の点検等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底

#### (2) 捕獲対策の強化

- ☑ 狩猟期(11月～3月)を中心に重点エリアの設定と捕獲強化
- ☑ 豚熱まん延防止のため、5県で捕獲強化の継続

#### (3) 野生イノシシにおける拡散防止対策

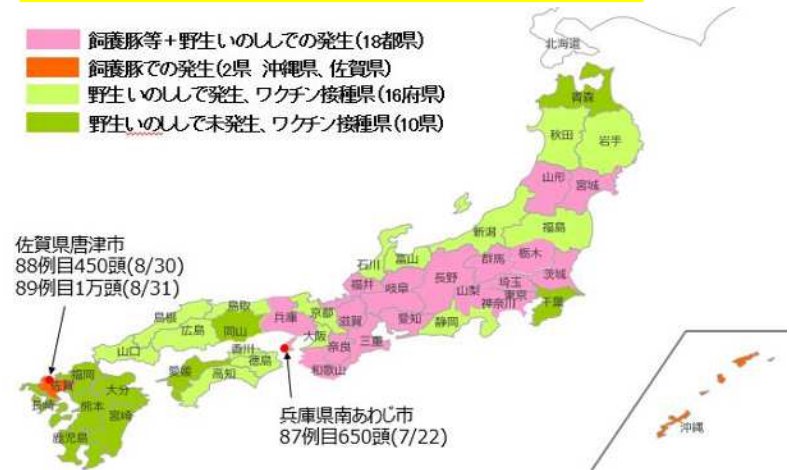
- ☑ 山口県、広島県、島根県での感染確認により、ワクチン接種推奨地域が5県に拡大し、現在、全県で経口ワクチンを散布
- ☑ 中国5県で野生イノシシのモニタリング強化(R4年4月～)

#### (4) 中国5県での豚熱等に係る情報交換会、検討会

(第1回8月4日情報交換会開催、第2回冬に担当者会議開催予定)

- ☑ 侵入防止対策の徹底と防疫・捕獲対策に係る情報共有
- ☑ 農林水産省や専門家によるイノシシ対策の助言等
- ☑ 効果的な経口ワクチン散布のための情報共有
- ☑ 飼養豚での発生時における家畜防疫員の相互派遣に係る課題の整理

### 【国内の豚熱発生状況】令和5年9月20日時点



全国では34都府県で野生イノシシの感染確認

- 中国地方ではR4年3月に山口県で初確認し、その後広島県、5月に島根県、R5年2月に鳥取県でも確認
- 現在、北海道と九州を除く本州全都府県で飼養豚へのワクチン接種を実施
- 各県における豚熱ウイルスのモニタリング対策強化及び野生イノシシ対策、飼養豚での発生に備えた5県での情報共有及び連携の強化

# 有害鳥獣対策部会

## 《ニホンジカ》

### (1) 広域的な生息状況の共有

- 最新の調査結果を共有し、生息域・生息数を把握
  - ・中国5県の推定個体数の増加は鈍化傾向だが、分布は拡大
  - ・個体数減少に向け、一層の捕獲強化が必要

### (2) 「捕獲強化月間」の設定

- 狩猟期前の捕獲強化月間(10月)を継続【鳥取・岡山・山口】
  - ・県境域を中心に捕獲を強化。
  - ・令和4年度の捕獲数は、鳥取・山口は増加、岡山は減少傾向

### (3) 生息動向を踏まえた地域別対策

- 県境域や分布拡大地域等を踏まえた捕獲強化を継続
  - ・指定管理鳥獣捕獲等事業、広域捕獲活動を実施【鳥取・島根・広島・山口】
  - ・単県の捕獲奨励金等でシカ捕獲を支援【鳥取・岡山】
- 連絡会議等での県境域における情報共有推進【鳥取・岡山(・兵庫)、島根・広島】
- 市町村の捕獲班の組織等捕獲体制構築を支援【島根】



捕獲技術向上合同研修会(岡山)

### (4) 人材育成

- 捕獲技術向上の研修会を継続【鳥取・島根・岡山・広島・山口】
- 兵庫県との捕獲技術向上合同研修会を継続【鳥取・岡山】
- 市町村行政職員を対象としたシカ対策研修を実施【島根】

## (参考) ツキノワグマ

- 中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報の共有と、市町村への情報発信を継続中
- 東中国地域個体群(兵庫、鳥取、岡山)と西中国個体群(島根、広島、山口)における広域連携による個体群管理を実施

## 《カワウ》

### (1) 「被害防除強化期間」(年3回)の取組

- 「被害防除強化期間」として設定した、アユの「遡上」、「放流」、「産卵及び盛漁期」の期間中に一級河川等での対策を継続【実施状況】令和5年3月～令和5年7月(遡上、放流)の期間【追払い】25水系【テグス張等】21水系・のべ66箇所

### (2) 個体群管理の取組

- ドライアイスによる繁殖抑制を継続【中海(環境省・鳥取・島根)、広島】
- 新規コロニーの巢落としを実施【鳥取】
- 銃器・エアライフル捕獲を継続【岡山、広島】
- ねぐら・コロニーにおける対策(ひも張り)、巡回及び花火による追払いを継続【岡山、広島】
- ねぐら・コロニー等の営巣場所の利用状況、個体数等の調査を継続【鳥取、島根、岡山、広島、山口】



ねぐら・コロニーにおけるひも張り(岡山県)

### (3) 中国5県における情報共有

- 中国四国カワウ広域協議会(環境省主催)、中国5県カワウ対策連絡会により、最新の情報を共有
  - ・生息域(ねぐら・コロニー分布状況図の更新)
  - ・各県で行う取組(個体群管理の取組等)

# 中山間地域振興部会

## 令和5年度事業

### 共同事業

#### 1 中国5県地域おこし協力隊研修会（担当県：広島県）

- （1）概要：中国地方で活動する「地域おこし協力隊」を対象とした5県共同研修会を開催し、スキルの向上、ネットワーク化を図る。
- （2）時期：令和5年9月9日（広島県三原市にて対面開催）
- （3）内容：「協力隊卒業後の暮らしはここにある。」をテーマとして、協力隊OB・OGによりゲストトークやワールドカフェ形式での対話等を実施。



#### 2 政策研究会

- （1）概要：各県での取組成果や工夫など、担当者同士の情報交換の場を設定することで、相互の業務の参考とする。
- （2）時期：令和5年8月9日（担当者会議と併せてオンライン開催）
- （3）内容：「各県における地域おこし協力隊に係る市町村や隊員に対する支援」及び「中山間地域の集落対策における人材確保・育成の取組、中間支援の現状」をテーマとして意見交換等を実施。

#### 3 中山間地域対策担当職員スキルアップ研修会(担当県：岡山県)

- （1）概要：中国地方の中山間地域対策を担当する県職員、市町村職員、その他関係機関等職員を対象としたスキルアップ研修会を開催し、地域支援に関する知識・ノウハウの習得を図る。
- （2）時期：令和6年1月頃（オンライン開催を予定）
- （3）内容：調整中



# サイクリング部会

## 《目指す姿》

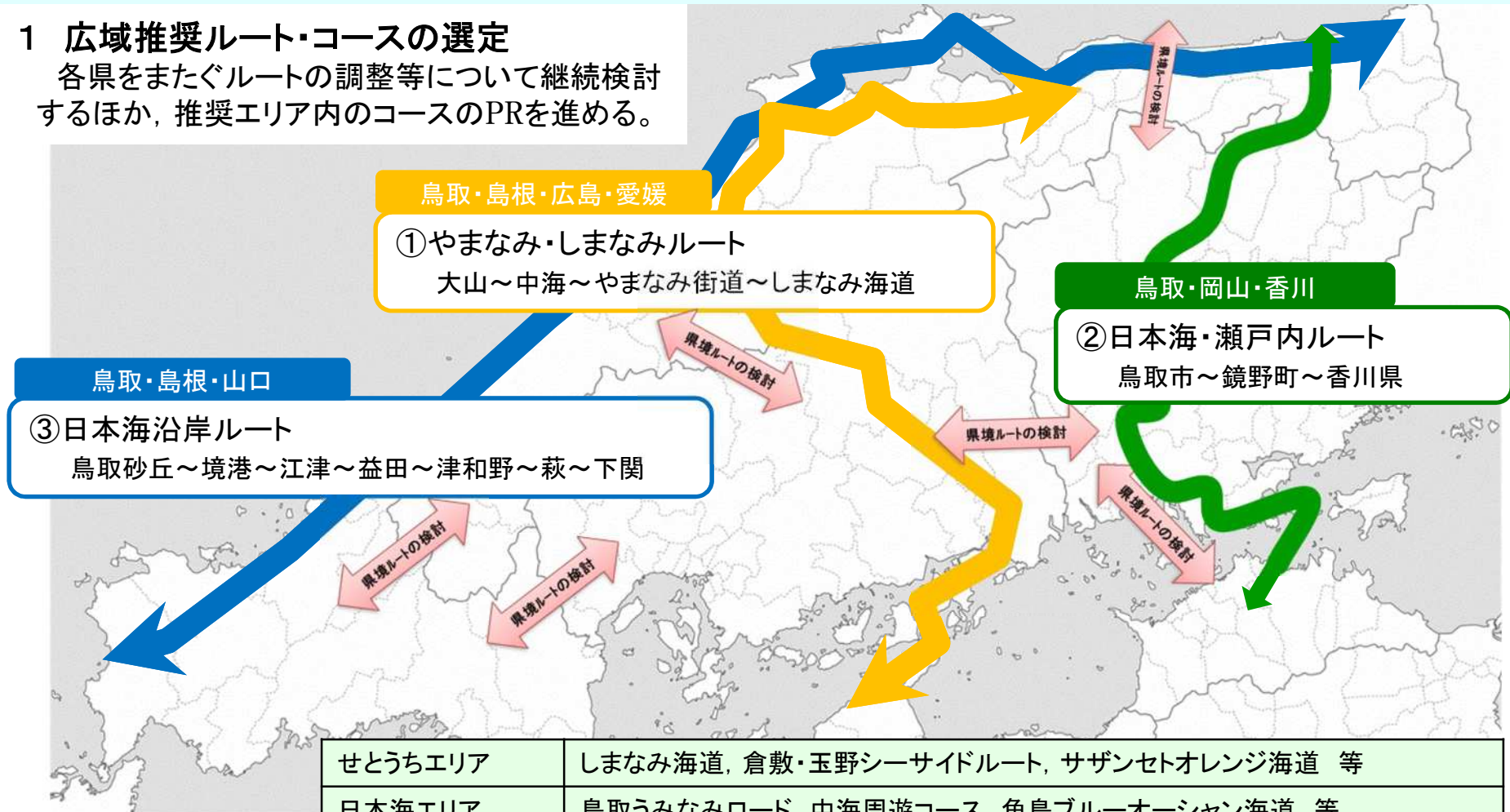
中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなっていること。

## 《目指す姿の実現に向けた取組》

- ①広域推奨ルート・推奨エリアの選定 ②サイクリストの受入環境の整備 ③情報発信に係る連携

### 1 広域推奨ルート・コースの選定

各県をまたぐルートの調整等について継続検討するほか、推奨エリア内のコースのPRを進める。



せとうちエリア	しまなみ海道, 倉敷・玉野シーサイドルート, サザンセットオレンジ海道 等
日本海エリア	鳥取うみなみロード, 中海周遊コース, 角島ブルーオーシャン海道 等
中国山地エリア	ツール・ド・大山ルート, 蒜山高原自転車道ルート, 秋吉台グリーンカルスト街道 等

# サイクリング部会

## 2 誘客促進・情報発信に係る連携

### ○サイクリングフォトコンテストの開催【誘客促進】

中国地方5県の魅力が伝わるフォトコンテストを実施し、誘客促進をはかる。

- ・ 実施期間: 令和5年6月13日(火)～10月31日(火)
- ・ 内容  
中国地方5県の魅力が伝わる『サイクリングを通して出会える風景』や『サイクリングで訪れてみたい観光地の写真』をInstagramで募集する。  
「最優秀賞」「各県優秀賞」等により表彰をし、各県の特産品を贈呈する。
- ・ 目標投稿件数: 延べ3,000件 ※現時点の投稿件数: 延べ2,184件(9月13日時点)



### ○サイクルイベントへの出展【情報発信】

中国地方5県でのブースにて、各県のパンフレットやサイクリングマップ等を配布して、情報発信を行う。

- ・ イベント名: サイクルモードライド大阪(大阪府吹田市: 万博記念公園)
- ・ 実施日: 令和6年3月2日(土)～3日(日)
- ・ 昨年度来場者数: 13,949人/2日間

### ○サイクリングマップの改訂及び外国語版の作成【情報発信】

サイクリングコース及び観光スポットを紹介するサイクリングマップを作成し、国内外へ情報発信する。

- ・ 内容  
平成30年度に作成した中国5県サイクリングマップの掲載情報を更新するとともに、新たに外国語版を作成する。
- ・ 対応言語: 日本語、英語、繁体字、簡体字



# 地域産業振興部会

## 取組状況（予定を含む）

### （1）ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

#### ○商談会の共同開催

- ・中国ブロック合同広域商談会  
（R4.10.20 [姫路商工会議所]、R4.11.8～18[オンライン商談]  
（公財）鳥取県産業振興機構）

（R5.11.8 [コンベックス岡山]（公財）岡山県産業振興機構）



#### ○商談会・展示会等の他県の参加促進

- ・中四国地域環境ビジネスネット（B-net）フォーラム  
（R6.2月、岡山市で開催予定 岡山県、岡山県産業振興財団  
主催）

### （2）研究会・研修会の共同実施・相互参加

#### ○研究会・研修会等について他県を含め案内

（実施時期等は未定）

### （3）公設試験研究機関の連携強化

#### ○人材交流

- ・中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会  
（R5.10.17～18 [産総研中国センター]（東広島市））

#### ○連携会議

- ・中国地域公設試験研究機関における知的財産管理活用  
に関する研究会（R5.10～11月、広島市で開催予定）
- ・中国四国地方公設試験研究機関共同研究（精密加工分野）  
推進協議会（時期未定 鳥取県（幹事県））



## 新たな目標や課題

### (1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

- ➡ 中国ブロック合同商談会や展示会出展企業交流会の継続開催
- ➡ 各県単独実施の商談会・展示会等の他県の参加促進
- ➡ 海外事務所を共同利用して取り組める事業の実施

### (2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

- ➡ 各県単独実施の研究会・研修会等について、他県を含め案内

### (3) 公設試験研究機関の連携強化

- ➡ 公設試験研究機関の人材交流
- ➡ 公設試験研究機関の連携会議
- ➡ 中国知事会から発足した公設試験研究機関の連携会議

商談会等の  
共同実施

研修会等の  
相互参加



公設試の  
連携強化

## これまでの取り組み

### 【R4業務内容】

- ・基本機能及び各県独自機能の整理
- ・中国 5 県共通仕様書案の作成
- ・各県既存システムベンダーから概算見積もりの徴取

### 【R5業務内容】

- ・共同運用に向けて、各県の課題整理



## 各県の共同運用に向けての課題について

・共同運用に向けて各県が解決が必要と考えている課題について、以下のとおり整理しました。

	主な課題
広島県	令和7年1月次期システム運用開始
岡山県	県内有線回線切断時においても防災行政無線で通信が可能となるよう整備予定のため、岡山県内にシステムサーバを構築する必要がある
鳥取県	独自のシステム構築、効率的に運用するための連携機能が必要であり、検討にかかる時間、経費を要する
島根県	相互応援及び訓練等の運用方法の整理を行う必要がある
山口県	5県での同時参加が見込まれなくなり、コスト削減効果が明確に見込めないこと 広域連携での取扱も国の次期システムの活用により代替可能であること

## 今後の取り組み

- ・中国5県で、相互応援及び訓練等におけるシステムの共同運用方法の整理を行う
- ・各県は、共同運用システムの詳細仕様を踏まえて独自機能分の費用分析を行い、全体的なコストメリットの検討を行う
- ・広島県は、運用開始に向けて、仕様書の策定、事業者の選定を行う
- ・広島県は、共同運用参加県募集を行う

